

昭和大学病院 がん薬物療法レジメニー覧 2020年3月

肝細胞がんレジメン

【共通確認事項】

ラムシルマブ（サイラムザ）前投薬：レスタミン（内服）

催吐リスク分類：HECレジメンに関してはアプレピタント,5-HT 3拮抗薬,ドキサメタゾンを使用

レジメンコード	レジメン名称	薬剤名	1日投与量	投与時間	投与日	1コース期間	催吐リスク分類	備考：
181001	HCC-newFP w	5-FU：フルオロウラシル アイエーコール：肝動注用シスプラチン	①②コース目 1500mg/m ² ③コース目以降 750mg/m ² 50mg/回まで	120時間 （専用インフューザー使用） 2時間 30分	Day1-5（持続点滴） Day1 Day1	1週間毎	MEC	肝動注シスプラチン併用、入院のみの投与
181002	HCC-RAM 2w(サイラムザ2w)	RAM：ラムシルマブ（サイラムザ）	8mg/kg	1時間	Day1	2週間毎	LEC	進行・再発：PDまで
-	HCC-Sorafenib：ソラフェニブ（ネクサバル）療法	Sorafenib：ソラフェニブ（ネクサバル）	800mg/Body/Day	内服 1日2回	連日内服	—	—	800mgより少ない量で服用開始する場合もあり、患者状態に合わせて投与量と投与方法は変化する。
-	HCC-Lenvatinib：レンバチニブ（レンビマ）療法	Lenvatinib：レンバチニブ（レンビマ）	体重60kg以上：12mg/Body/Day 体重60kg未満：8mg/Body/Day	内服 1日1回	連日内服	—	—	1日投与用より少ない量で服用開始する場合もあり、患者状態に合わせて投与量と投与方法は変化する。
-	HCC-Regorafenib：レゴラフェニブ（スチバール）療法	Regorafenib：レゴラフェニブ（スチバール）	160mg/Body/Day	内服 1日1回 食後	Day1-21（連日） Day22-28（休薬）	4週間毎	—	160mgより少ない量で服用開始する場合もあり、患者状態に合わせて投与量と投与期間変化する。

免責：本レジメニー覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメニー覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では、一切の責任を負いません。